

劇団四季（四季株式会社）

〒225-8585
神奈川県横浜市
青葉区あざみ野 1-24-7
<http://www.shiki.jp/>

会社概要

『キャッツ』『オペラ座の怪人』『美女と野獣』『ライオンキング』などの海外ミュージカル作品や、『ミュージカル李香蘭』『夢から醒めた夢』などのオリジナルミュージカル作品を上演。全国に9カ所の専用劇場を持ち、公演回数は年間3600回（2008年4月1日～2009年3月31日）に及ぶ。俳優、経営・技術スタッフを合わせて約1200名。劇団四季は1953年に浅利慶太氏らが中心となって設立された。



それまで使っていたメールシステムと同等の費用で 容量が従来の2500倍以上と圧倒的に増強！

メールボックスがすぐにパンクしてしまう状態

『オペラ座の怪人』『ライオンキング』『キャッツ』『コーラスライン』など、ロングランでおなじみの海外ミュージカル作品や、『はだかの王様』『ミュージカル南十字星』などのオリジナルミュージカル作品を上演する、日本を代表する最大規模の劇団「劇団四季」。東京・名古屋・京都・大阪に計9カ所の専用劇場を擁し、数多くの熱心なファンを持つことで知られる。同劇団を運営する四季株式会社は、2010年1月、Google Apps for Businessを導入した。当初は694アカウントからのスタートであった。その経緯について、導入業務を担当した広報部宣伝/インターネット担当課次長の植田義人氏は次のように言う。

「以前使っていたホスティング型のメールサービスの容量が、一人あたり10メガバイトと非常に少なく、メールボックスがすぐにパンクしてしまう状態でした。何とかしなければならぬと思いながらも、なかなか手をつけられずにいたのです」

メールボックスがパンクしてしまえば、メールの送受信ができずに

業務に支障が出る。仕方なく、各ユーザーは重要なメールはローカル端末に落として保存・閲覧し、メールボックスをひんばんに削除しなければならぬ状態が続いていた。

「ミュージカルの本場であるニューヨークのブロードウェイなどに視察に行くスタッフも多くいますが、出張中はメールボックスの削除作業ができず、パンクしてしまうこともよくありました。そうすると重要なメールが受信できなくなるので本当に困っていたわけです」

日頃から Gmail の便利さを実感

個人的に Gmail ユーザーであった植田氏は、日頃からその便利さを実感していたという。

「ブラウザベースで利用していたので、どの端末でも全く同じ環境、設定で使えることが便利でした。また、容量が非常に大きく、そのことを気にせず使えるのもいいと思っていました」

そして、Gmail を会社としても使えるようになれば全員が便利になると考え、2009年10月頃に以前から知っていた Google Apps for Business の導入を会社に提案。



広報部
宣伝/インターネット担当課次長
植田義人氏

「費用がそれまで使っていたメールシステムと同等であるのに、容量が1アカウントあたり25ギガバイトと、従来の2500倍以上という圧倒的なサイズに増やすことができます。また、メール以外にもいろいろな機能が利用できる。何の問題もなく導入の了解が得られました」

導入が決定してから、以前のメールシステムとのリプレースにちょっとした問題が発生した。対象人数が約700名と多かったので、以前のメールシステムと並行して使える期間を設定し、その間は両方のメールに配信することになった。

その際、以前のメールサービスが、同じ社内にメール送信する際はその都度インターネットに出ずに送信者→サービスプロバイダ→受信者という経路であったため、Gmailのボックスには届かないことが判明。そこで、当初の並行稼働を早々に切り上げ、Google Apps for Businessを前倒して導入することとなった。

メールボックスのことを気にせずに済むように

「Google Apps for Business 導入後は、当然のようにメールボックスのことを気にせず、削除作業などに手間とられずに済むようになったのは大きいですね」と植田氏はその効用を言う。

また、同社で舞台装置の製作や設置などを手がける技術スタッフは、日々、ほうぼうの劇場を転々として作業している。「そういう場合に、手持ちのモバイル端末のほか、各劇場やホテルにあるパソコン端末などでもアクセスできることが非常に便利であると好評です。最近ではスマートフォンを持つ社員も増え、Gmailとの親和性も高く『移動中でもメールが使えていい』などという声が届くようになりましたね。業務が大変効率化していると思います」



劇団四季劇場

同社では、Gmailをブラウザベースではなく各個人が使いやすいクライアントでも使えるようにしているので、リプレース後の「使い方がわからない」といった混乱は見られないという。

ブラウザベースで使っている社員からは、「全文検索が使えるメールが探しやすく便利」といった評価の声も届いている。さらに、従来は一部の社員に届いていたスパムメールがほぼ完全にシャットアウトされるようになったことも大きい。

なお、同社では以前からグループウェアを導入しており、会議室予約などに用いられている。「全員がそのグループウェアを使い慣れているので、しばらくは並行して使えるようにしていきますが、いずれはGoogle Apps for Businessに一本化させたいと思っています」

1ギガまでアップできるGoogleドキュメントも活用へ

導入後はもっぱらGmailだけを利用しているが、それ以外の機能について植田氏は次のように目論んでいる。

「舞台装置の製作や設置で大量の図面を作成し、やりとりしています。結構なデータ量があるので、これまではDVDなどのメディアでやりとりしていました。しかし、DVDだと、その作成や受け渡しに手間が発生します。Googleドキュメントは1ギガバイトまでアップでき、そうした手間を省けるので、有効活用できと思っています」

また、1アカウントあたり3ギガバイトまでの動画を共有できるGoogleビデオや、写真を共有できるPicasaなども劇団の業務に活用できる可能性が大きい。

「せっかく豊富にそろっている機能を使わないのはもったいないので、今後、使い方を研究してどんどん使いこなしていきたいと思っています」



お問い合わせ

Google Apps for Businessの詳細については、<http://www.google.co.jp/a> をご覧いただくか、もしくは、同ページ「お問い合わせ」よりお問い合わせください。

© Copyright 2010 Google

Googleは、Google Inc.の商標です。その他すべての社名および製品名は、それぞれ該当する企業の商標である可能性があります。

© Copyright 2010 Google is a trademark of Google Inc. All other company and names may be trademarks of the respective companies with which they are associated. GECS 09/15/10